

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

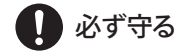
安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。



軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。



必ず守る

■使用上のご注意

⚠ 注意



指に注意

ドアの着脱を行う際は、ドアとキャビネット本体の間やヒンジのレバー操作で指を挟まないでください。けがの原因になります。



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

※ただし、タッピンねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
薄板用タッピンねじ 3	0.5 ~ 0.8
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

■その他のご注意

●環境について

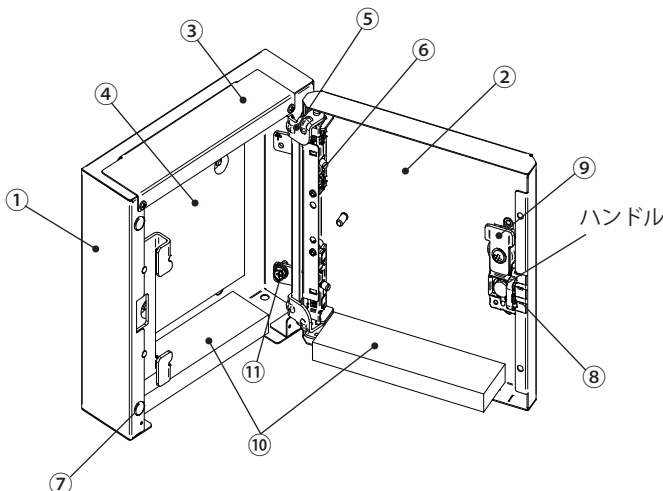
- ・本製品は屋内専用です。屋外には使用しないでください。
- ・次のような場所では使用しないでください。

- 高温、高湿となる場所
- 腐食性ガスのある場所
- 振動、衝撃のある場所
- 可燃性ガスのある場所
- 塵埃やオイルミストが多い場所
- 有機溶剤のかかる場所
- ノイズ(電界・磁界)の強い場所
- 水滴のかかる場所
- 導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所

●使用について

- ・本製品は薄板のため、外部からの圧力や落下などの衝撃を与えないでください。
- ・薄板用タッピンねじの締め付けに電動ドライバーを使用しないでください。締め付け過ぎにより、製品を破損するおそれがあります。
- ・薄板用タッピンねじは、締め付け状態を確認しながら取り付けを行ってください。
- ・薄板用タッピンねじは、ねじを締め付け過ぎないでください。製品を破損するおそれがあります。

■各部の名称・仕様



ご注意 搭載可能質量を超えないでください。
(製品高さ寸法 500mm 以上：15kg、450mm 以下：5kg)

番号	部品名	材質	板厚 mm	数量
①	ボデー	鉄	0.8	1
②	ドア	鉄	0.8	1
③	開口プレート	鉄	0.8	1
④	木製基板	—	12	1
⑤	蝶番	鉄	2.3	2
⑥	ヒンジ	PP	—	2
⑦	ブッシュ	PE	—	3
⑧	扉受け	POM	—	1
⑨	止め金	鉄	2.3	1
⑩	パッキン	PE	—	2*
⑪	アースねじ M5×10	BS	—	1

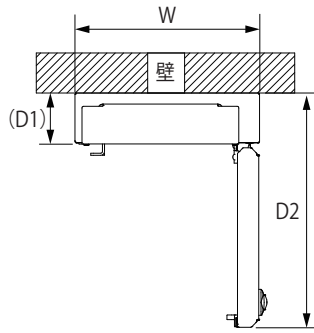
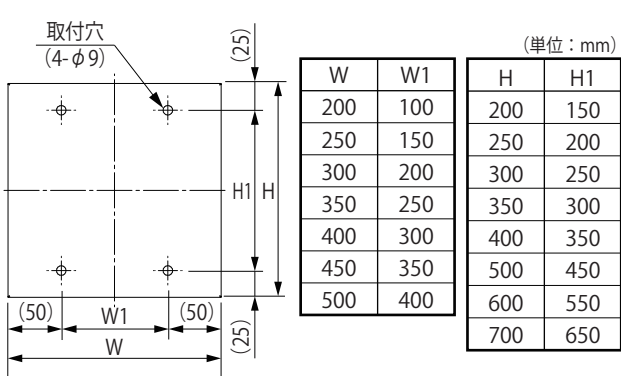
※付属品になります。

●付属品

名称	数量
キー (N200)	1 コ
パッキン	2 コ
取扱説明書(本紙)	1 部

■設置方法

1. ドアを取り外してください。(「●ドアの着脱方法」を参照)
2. キャビネットを背面の取付穴(4-φ9)を利用して、アンカーボルト M8(4か所)で壁面に固定してください。
また、ドアの開閉スペースを D2 寸法以上確保してください。

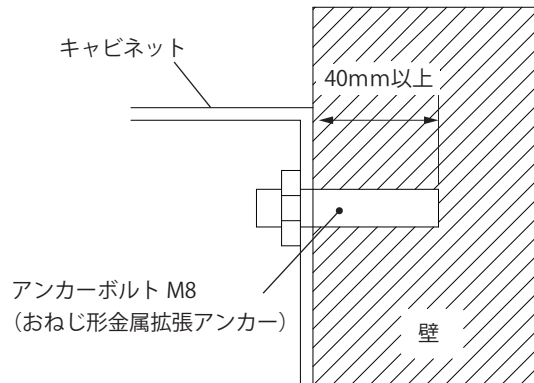


製品奥行寸法	D1	W	D2
80	55	200	255
		250	305
		350	405
		400	455
		450	505
120	95	300	395
		400	495
		500	595

ご注意

- ・ドアを取り外した状態で設置してください。
- ・設置は十分強度のある壁面に固定してください。

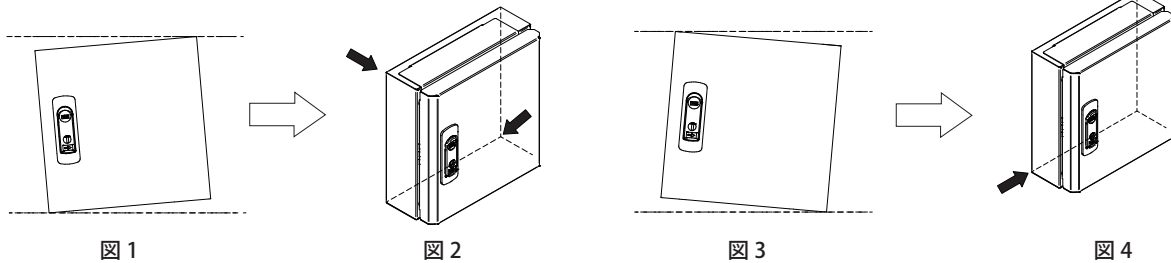
ボルト径	最小埋込深さ mm
M8	40



●設置上のご注意

設置面が平らでない場合、キャビネットがひずみ、扉の開閉が困難になることがあります。
ひずみ(図 1,3)が生じた場合は、左右(⇒)(図 2,4)のどちらか一方にスペーサなどを入れて調整してください。

ご注意 スペーサは落下しないように確実に固定してください。スペーサの落下・けがの原因になります。



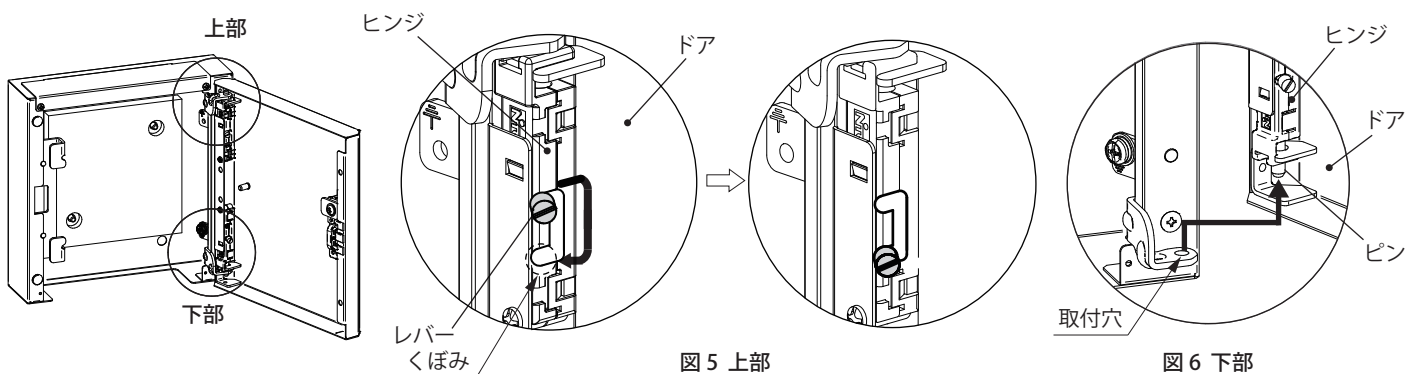
■着脱方法

●ドアの着脱方法

1. ドアを開けた状態で、ドア上部のヒンジのレバーを図の矢印⇒のように動かし、くぼみに押し込んでください。(図 5)
2. ドア全体を斜め上に持ち上げ、ドアを取り外してください。(図 6)
3. ドアの取り付けは、逆の手順で行ってください。

ご注意

- ・本製品を床やテーブルに置いた状態でドアを開く方向に手を離したり、ドアを開いた状態でドアに荷重をかけないでください。
- ・ドアの取り付けは、ドア下部のピンが確実に取付穴に入っていることを確認してから、ドア上部のピンを差し込んでください。
- ・ドア取付後は、ドアが外れないか、がたつきがないかを確認してください。

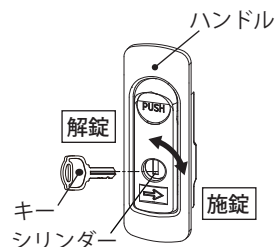


●ハンドルの施錠・解錠方法

1. ハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

ご注意

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
- ・また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。
- ・ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。
- ・シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。
- ・シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。

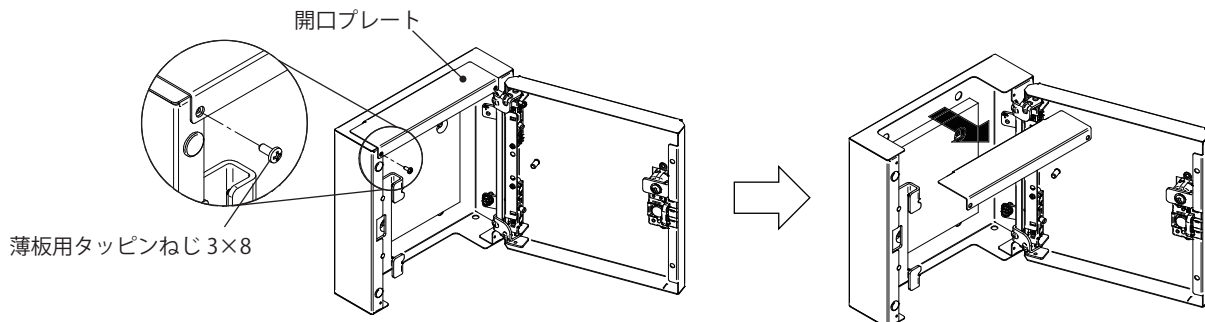


●開口プレートの着脱方法

1. 薄板用タッピンねじ 3×8 (2 か所) を取り外してください。
2. 開口プレートを前方に引き抜いて取り外してください。
3. 取り付けの場合は逆の手順で行ってください。

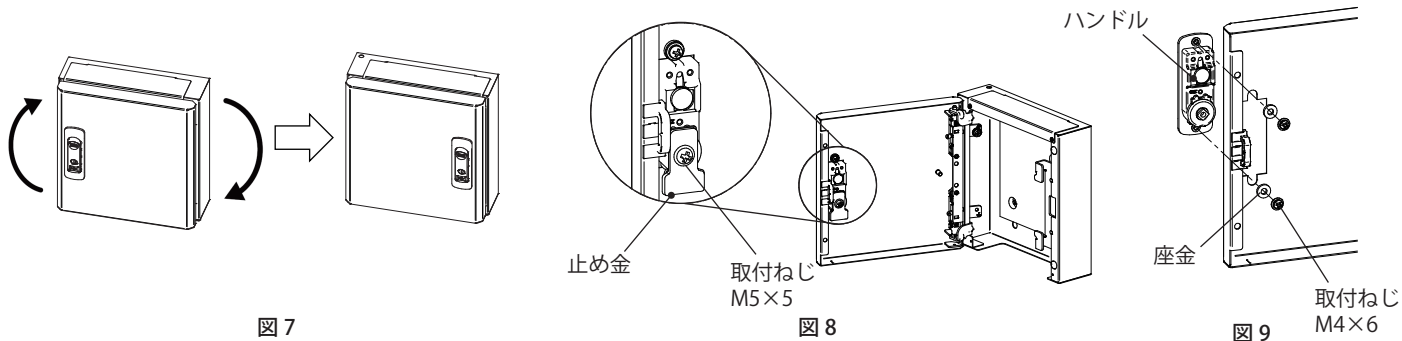
ご注意

- ・薄板用タッピンねじの締め付けに電動ドライバーを使用しないでください。締め付け過ぎにより、製品を破損するおそれがあります。
- ・薄板用タッピンねじは、締め付け状態を確認しながら取り付けを行ってください。
- ・薄板用タッピンねじは、ねじを締め付け過ぎないでください。製品を破損するおそれがあります。



■ドア左開き変更方法

1. キャビネットを上下反転してください。(図 7)
2. ハンドルの止め金に取り付いている取付ねじ M5×5 (1 か所) を取り外し、止め金を取り外してください。(図 8)
3. ドアのハンドルに取り付いている取付ねじ M4×6 と座金 (2 か所) を取り外し、ハンドルを取り外してください。(図 9)



4. 取手の回転方向を変更してください。

○取手の回転方向の変更

- ① 取手を下に引き抜いてください。
- ② 回転変更用ピンを取り外してください。

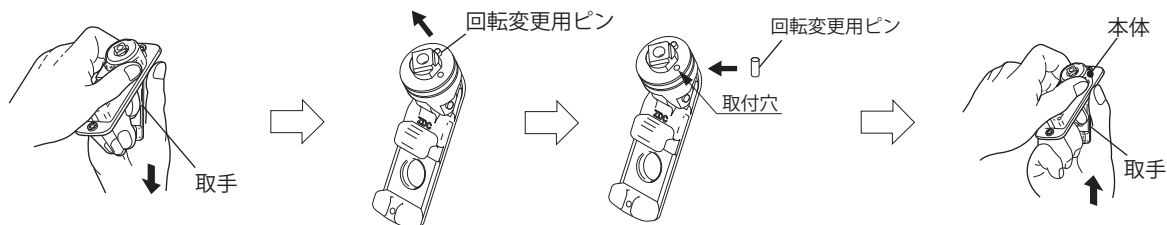
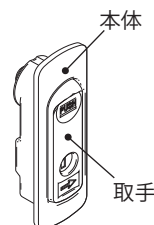
ご注意

下向きにすると、回転変更用ピンが取り外しやすくなります。その際に、外した回転変更用ピンをなくさないようにしてください。

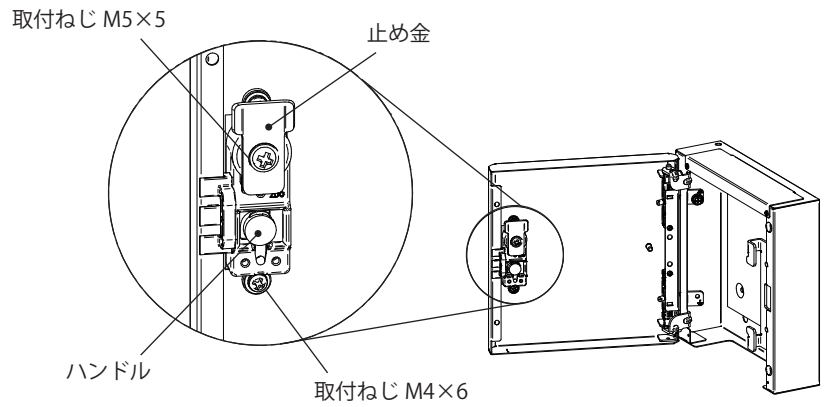
- ③ 取付穴に回転変更用ピンを挿入してください。
- ④ 取手を本体に組み込んでください。

ご注意

ハンドル取手の回転方向が取手の矢印と逆になります。(矢印ラベルを用意しておりますので、別途お問い合わせください)



5. ハンドルと止め金を 2, 3 と逆の手順で取り付けてください。
止め金は取手を閉じた状態で図の向きになるように取り付けてください。



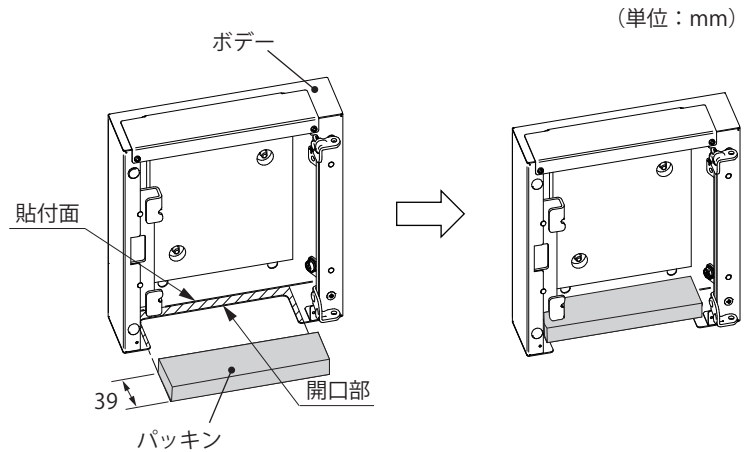
■パッキンの貼付方法

ご注意

THA8-□は、ボデー用とドア用のパッキンが兼用です。
THA12-□は、ボデー用とドア用でサイズが異なります。

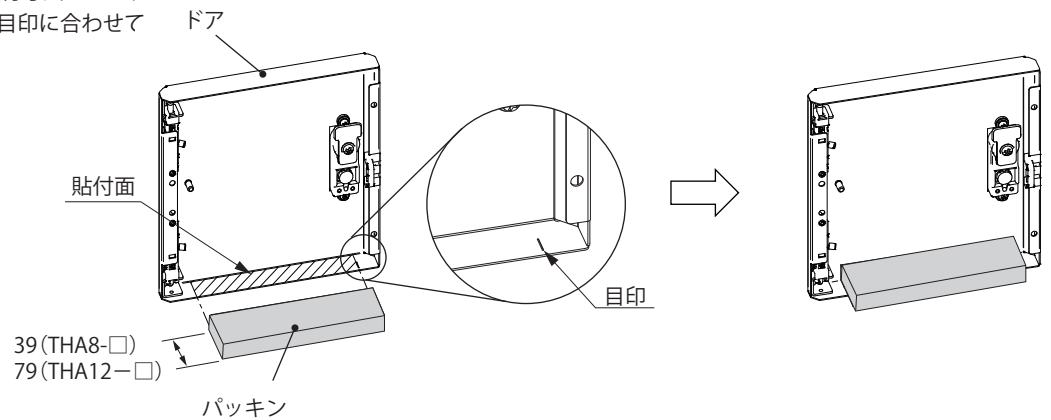
●ボデーへの貼付方法

1. 貼付面の汚れ、水分などを拭き取ってください。
2. ボデー用のパッキン(奥行寸法 39mm)を貼り付けて開口部を塞いでください。



●ドアへの貼付方法

1. 貼付面の汚れ、水分などを拭き取ってください。
2. ドア用のパッキン(THA8-□：奥行寸法 39mm、THA12-□：奥行寸法 79mm)を目印に合わせて貼り付けてください。



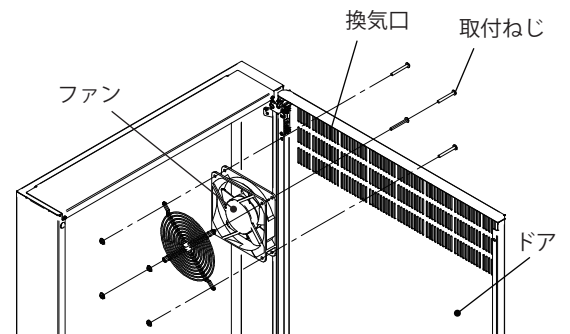
■ファンの取付方法

換気口付タイプのタテ 500mm 以上の製品には、ドア上部にファンの取付が可能です。

蝶番側の換気口にあるファン取付穴(推奨取付位置)を使用し、ねじ止め固定してください。

取付可能なファン：PF-121CL

ファン最大取付数：1 個



お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2019年8月
B816122981

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原 2201 番地